

単元目標 (育成したい資質・能力)	○おすすめの本を推薦するために多様な視点から読書すると共に、読書の魅力に気付くことができる。 (知識及び技能(3)オ) ◎複数の本や文章を読み比べながら、推薦したい本の内容や特徴を元にして、自分の考えをまとめることができる。 (思考力、判断力、表現力等 読むこと(1)オ) ○相手や目的に応じて推薦したい本を選び、その本についての魅力や自分の考えをまとめていこうとする。 (学びに向かう力、人間性等)
----------------------	---

二つの側面	A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	三つのプロセス	①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する
-------	--	---------	---

① 単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点 ④	③ 「読み解く力」を育成するための手立て	② 「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿
		A：文章・グラフ・図から B：やりとりから
① 単元のゴールイメージをもつ。学習計画を立てて、単元の見通しをもつ。 □教師のモデル、活用したワークシートなどを見せる。推薦(レコメンド)する時に気を付けることを「レコ技」としてまとめて、班で学習計画を立てられるようにする。	□推薦相手や目的が明確になるように「はっきりシタワー」をつくる。	①文章や資料を理解・評価しながら読む ・推薦する相手や目的にふさわしい本を推薦するために、本の内容や特徴を基に、「おすすめどころ」を読み解いている。
② 読書経験や読書記録をふり返ったり、本を読んだりして、推薦したい相手や目的を明確にして、推薦する本を決める。 □「ごんぎつね」のモデルを通して、推薦する相手や目的にぴったりの推薦したい本を決められるようにする。 □つまづきやすい児童には、今まで読んだ教科書教材や、生活の中で興味関心のあることに関わる本を薦めておく。 □一定の期間を設けて、本を読む時間を確保しておく。	□「おすすめどころ」を明確にするために、付箋に書き出して、「はっきりシタワー」に貼るようにする。 □推薦相手や推薦目的が似ているグループで話し合いながら、推薦する相手の立場に立ち、「おすすめどころ」を比較したり検討したりできるようにする。 □グループでの話し合いを受けて、再度自分の本を読み解く時間を設ける。	②様々な情報を比較し、推論しながら取り出したことをまとめる ・推薦したい複数の本や文章を読み比べながら、推薦する相手や目的によりふさわしい「おすすめどころ」を明確にしている。
③ 本を読んだり、話し合ったりして、自分の推薦したい相手や目的にぴったりの「おすすめどころ」を本から見つける。	□既習の「ごんぎつね」のモデルを教師が提示することで、本の帯シートに自分の考えをまとめるようにする。 □推薦する前後で本に対する見方や考え方が変わるということを「ごんぎつね」のモデルを通して気付くことができるようにする。	③解釈した内容を経験や知識に結び付けて理解し、新たな情報と関連しながら創造していく ・推薦する相手や目的にふさわしい本を推薦するために、本の内容や特徴を基に、推薦理由や推薦内容として考えたことをまとめている。 ・推薦することで、多様な視点から読書したり、読書の魅力に気付いたりしている。
④ 「おすすめどころ」を基にして、キャッチコピーを考えたり、推薦理由に自分の考えをまとめたりする。		③やりとりを通して、相手の意図や思いを取り入れたり、相違点を明らかにしたりしながら自分の考えを深め創造していく
⑤ 自分の本を、他のグループの友達に推薦する。推薦された本を読む。		